

第34回工場見学会 CKD(株) 小牧工場見学記

Plant Tour Report : CKD Komaki Plant

武州製薬(株) 包装技術課
Packging Technology Bushu Pharmaceuticals Ltd.

前 島 義 則
Yoshinori MAEJIMA



会社全景

1. はじめに

2007年3月16日(金)、製剤機械技術研究会主催第34回工場見学会が開催され、CKD株式会社 小牧工場を見学した。CKD株式会社小牧工場には見学会で用意されたバスに乗り名古屋駅からバスで約30分で到着するところにある。(当日は、晴天で名古屋市内の景色を見ることが出来ました。)

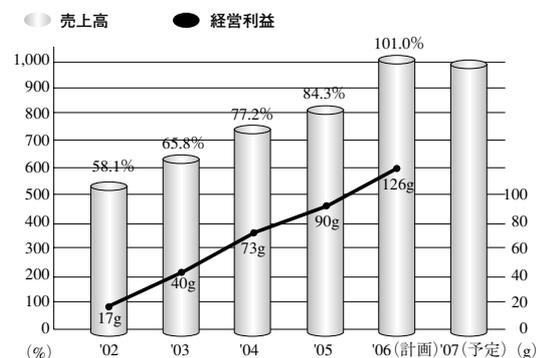
2. 見学会スケジュール

- 13:30 挨拶ならびに会社概要説明と自動機械製品紹介
- 13:45 工場見学
- 15:10 ISPE ベースラインガイドC&Qに基づ

＜PTPにおける考え方

- 16:00 質疑応答
- 16:30 集合写真撮影、見学会終了

連結売上高及び経営利益



3. 会社概要

CKD株式会社は、1943年より創業し、創業以来一貫して自動化技術・流体制御技術の研究開発に取り組み高品質・高効率の自動化を実現すると共に、省資源・省エネルギーを考慮した自動化機器を開発し、産業界の高性能化・ローコスト化に貢献している。現在、従業員数3,512名で、小牧工場では1,300名である。国内に4ヶ所の工場、海外に中国・タイ2ヶ所の工場を保有し、営業所は全国に展開している。

小牧工場は、包装機械・照明機械・産業機械を中心に、お客様のニーズ合うように生産を行っている。



石田社長のご挨拶



西尾部長の司会

生産品目・以下の通りである。

- ・包装機械…医薬品用自動包装システム（PTP包装システムFBPシリーズ、毎分6000錠包装の高性能、シート使用量・省資源に大幅に削減し、環境負荷低減に対応等）国内シェア70%
- ・照明機械…バックライト製造システム（大型

LCDの光源として使用される、CCFLタイプのバックライトを高速に生産する。各種の蛍光灯、ハロゲンランプ製造自動機械等）世界シェア70%

- ・産業機械…三次元はんだ印刷検査機（携帯電話・ノートパソコンなどのデジタル機器に使用されている基板のはんだ状態を独自のカラー三次元画像処理。リチウムイオン電池巻回機）国内シェア80%
- ・機器商品…（ファインシステム機器・液体制御機器・省力機器・空気圧機器・半導体用薬液制御機器・液体制御機器等）国内シェア60%

4. 工場見学

会社概要及び工場概要説明を受けた後、工場見学へ移動した。見学は5班に分かれて、医薬用自動包装システム、バックライト包装システム、機械商品の工場見学を行なった。



工場見学

工場内はそれぞれの機械使用に合わせて機械棟を区分して見学通路から見ることができた。医薬品に



工場見学

についてはエコブリスター機300Eを見ることができ機械のボルト数が少なく、コンタミ防止、打ち抜き機能が短列であり、環境に配慮した機械であった。バックライト製造については大きな機械で、液晶のディスプレイ用のバックライトを使用する機械と説明を受けた。機器商品の展示品及び試験室等を見学した。

5. ISPE ベースラインガイドC&Qに基づくPTPにおける考え方



ご講演の丸山部長

ISPE ベースラインガイドC&Qに基づくPTPにおける考え方について、CKD株式会社 自動機械事業部 開発部の丸山俊二氏より公演があった。C&Qの目標として、コミッショニングの前段階で製品品質に直接影響を与えるシステムをアセスメントすることでクォリフィケーションの対象を絞る。コミッショニングにより得た検証結果利用し、クォリフィケーション・プラクティスにおける繰り返しが発生しないように効率的に促進する。

・C&Qとは…医薬品製造関係法規に対する適合を適正なレベルにすることによって、設備コストの低減を図り、バリデーションでの多大な時間と費用の削減。

・コミッショニングとは…計画された文書化及び管理し、エンジニアリングの手法で装置・システム制作からエンドユーザーへの引渡しまでの契約上の行為である。

・クォリフィケーションとは…医薬品の品質に影響を与えない施設・設備・機器がユーザーの要求通りであることを確認し、文書化する。

6. 質疑応答

ISPE ベースラインガイドC&Qに基づくPTPにおける考え方の公演終了後、質疑応答が行われた。参加者より多くの質問が出され、他社のCKD株式会社の製品に対する関心の高さがうかがわれた。



質問にご回答される水野部長

7. まとめ

工場到着時に感じたことは、小牧工場の敷地が大



質疑応答



小沢委員長の謝辞

きいことでした。医薬品業界および家電業界等でも活躍しているトップメーカーの会社であることを改めて感じました。工場見学では、エコプリスター機、照明製造システム、機械商品を見学しCKD株式会社は機械作りに対する思いは素晴らしいと思いました。当社もCKD株式会社のプリスター機を4台保有し問題なく稼動しております。これからもCKD株式会社と連携して行きたいと感じました。

8. 謝辞

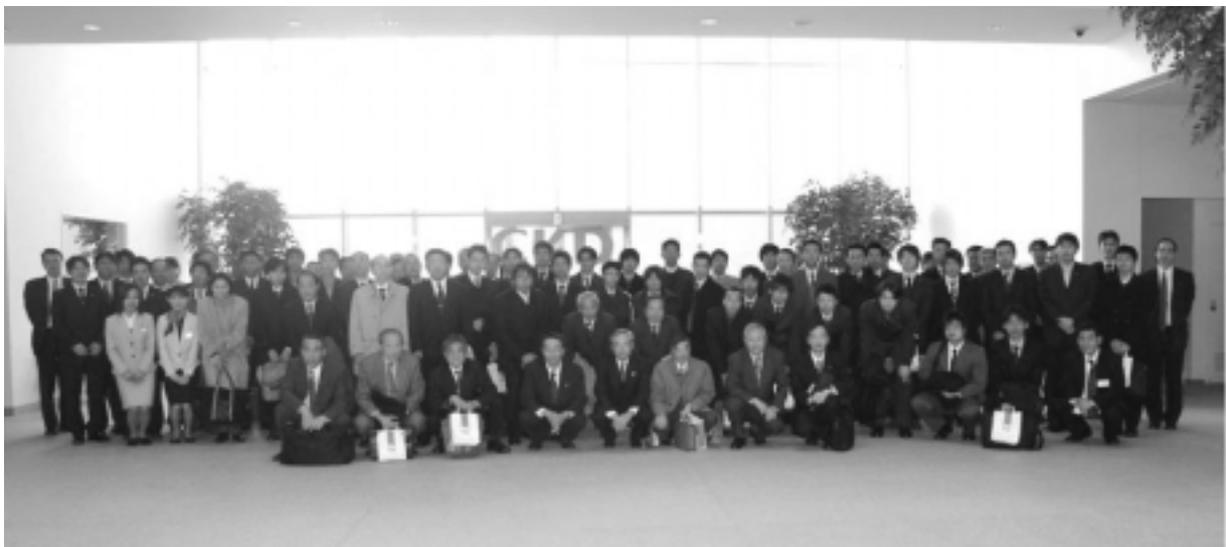
最後に製剤機械技術研究会工場見学実行委員会の小澤委員長より、このたびの工場見学の開催に対し

て、CKD株式会社の方々への謝辞が述べられた。

特筆すべきは、今回の工場見学会の出席者が76名と多く、今回の工場見学会の関心の高さを表す結果となった。その後、正面玄関で集合写真を撮り、バスにて名古屋駅へ戻り解散した。

最後に、今回の見学会のために貴重な時間を割き、準備対応いただいたCKD株式会社ならびに製剤機械技術研究会の関係者の方々に心より感謝申し上げます。

以上



参加者集合写真